

市川宏雄(いちかわ ひろお)

明治大学名誉教授

帝京大学特任教授

2013年4月より町田市・未来づくり研究所所長。現在、大都市政策研究機構理事長、日本危機管理士機構理事長、日本危機管理防災学会会長、日本テレワーク学会会長、森記念財団業務理事等、要職多数。海外では Steering Board Member of Future of Urban Development and Services Committee, World Economic Forum (ダボス会議)、International Committee Member of Fourth New York Metropolitan Plan, Regional Plan Association 等歴任。

世界の第一線の都市研究家と協働して世界都市総合力ランキング(GPCI)を森記念財団都市戦略研究所で2008年から継続的に発表するとともに、世界の主要な都市会議で、大都市の課題、未来、そして熾烈な都市間競争を語っている。2018 年より日本の都市特性評価(JPC)も開始。

1947年東京に生まれ育つ。早稲田大学理工学部建築学科、同修士課程、博士課程を経て、カナダ政府留学生として、ウォータールー大学大学院博士課程(都市地域計画)を修了(Ph.D.)。一級建築士でもある。ODA のシンクタンク(財)国際開発センターなどを経て、富士総合研究所主席研究員の後、1997年明治大学政治経済学部教授(都市政策)。都市計画出身でありながら、政治学科で都市政策の講座を担当するという、日本では珍しい学際分野の実践者。2004年から2018年まで明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科長。2008年から2016年まで明治大学専門職大学院長、明治大学危機管理研究センター所長も歴任。

専門とする政策テーマ:

大都市政策、次世代構想、災害と危機管理、世界都市ランキング、テレワーク

<主たる著書> 著作は30 冊以上におよぶ。東京に関する最近の著作は以下のとおり。

『2030年「東京」未来予想図』クロスメディア 2022 年(共著)

『新宿の逆襲』青春出版 2021 年(単著)

『新・東京進化論』幻冬舎 2019 年(共著)

『都市のエクリチュールー都市と国土の四半世紀ー』千倉書房 2018 年(単著)

『災害発生時における自治体組織と人のマネジメント』第一法規 2018 年(共編著)

『創発する都市 東京』都市出版 2017 年(編著)

『バブル後25年の検証』東京書籍 2016 年(共著)

『東京一極集中が日本を救う』ディスカバリー 2015 年(単著)

『東京2025ーポスト五輪の都市戦略』東洋経済新報社 2015 年(編著)

『東京五輪で日本はどこまで復活するのか』KADOKAWA 2013 年(単著)

『リニアが日本を改造する本当の理由』メディアファクトリー 2013 年(単著)

<主たる東京に関する審議会等委員>

東京都/渋谷区・渋谷一丁目地区共同開発事業審査委員会・委員長(2021-2022)

東京都・国際金融都市・東京構想に関する有識者懇談会・委員(2020-2021)

特別区長会・調査研究機構・顧問(2019-現在)

渋谷区・産業/観光ビジョン検討委員会・委員長(2019-2020)

東京都・東京と日本の成長を考える検討会・委員(2018-2019)

東京都・オリンピック・パラリンピック施設設計ポスターザル技術審査委員会・委員(2014-2015)

中央区・都市計画審議会・会長(2018-現在)

渋谷区・基本構想等審議会・会長(2015-2016)

大田区・「国際都市おおた」推進に関する区民有識者会議・会長(2014-2017)

文京区・都市計画審議会・会長(2007-現在)

【詳細は 市川宏雄 オフィシャルサイトへ <https://ichurban.jp/> 】